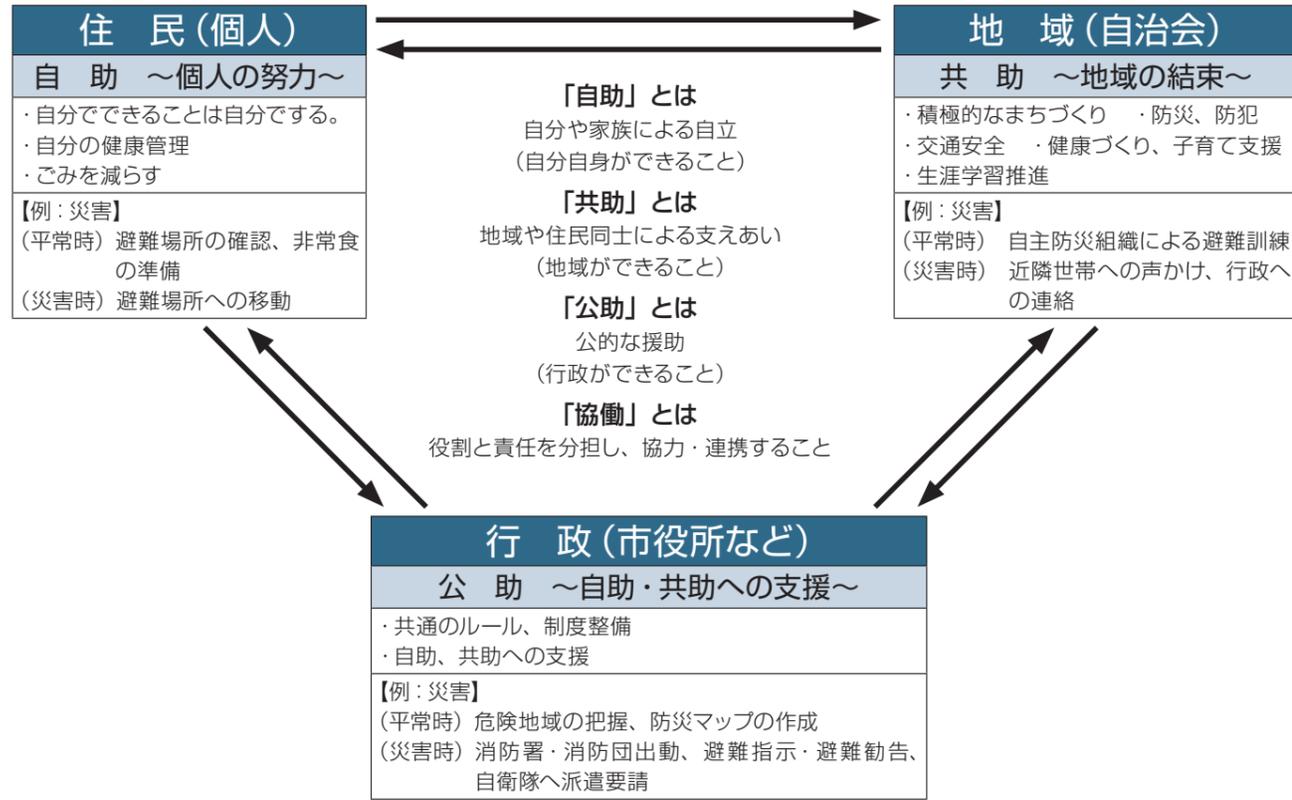


～住民・自治会・行政の協働による地域づくりを推進しましょう～



■自治会ではこのような活動をしています。

親睦・交流活動	子どもから高齢者まで交流を深め地域が元気になるため、敬老会や伝統行事などの活動に取り組んでいます。	ごみ問題	ごみステーションを設置することで犬、猫、鳥からごみの散乱を防ぎ、衛生的で美しい地域づくりを行っています。
美化活動	下水の清掃、草刈りなどの美化活動を行い、衛生的で居心地の良い環境づくりに取り組んでいます。	行政連絡文書の回覧	市役所からの大事なお知らせが自治会回覧板をとおして自宅まで届きます。
青少年育成	青少年が安全で健やかに育つよう地域で見守ります。※小学1年生への安全帽贈呈や親子会活動の支援など	防犯活動	犯罪を防止するための防犯灯(街灯)の設置を行っています。
自主防災	地震、火事、台風、水害などの災害発生時の災害・避難情報の伝達など、協力し助け合います。	消防団支援	地震、火事、台風、水害などの災害発生時に活躍する消防団の支援をしています。

※ 活動内容は各自治会で多少異なります。

重要度が増してきているのが「自主防災組織」です。大規模な災害が発生した場合、消防などの公的機関が全力を挙げて応急対策に取り組みます。しかし、道路の寸断、建物の倒壊、断水や電力供給の停止、火災などの二次災害により、行政だけでは十分に対応できない場合もあります。このような時に個人や家庭単位でばらばらに行動しても効果は少なく、場合によっては混乱をもたらすこともあるのです。

そこで、災害時にその被害を最小限にとどめるため、地域住民がお互い協力し合う「自主防災組織」が必要となるのです。自主防災組織は災害発生、状況に応じての初期消火や救出、救助、避難、誘導などを行います。そのためには平常時から災害の予防的活動や防災訓練など住民が一体となった活動が重要です。串間市では153の自治会中88の自治会が自主防災組織を結成しています(平成22年2月1日現在)。今後さらなる組織の拡大が必要となります。

住民・自治会・行政が一体となった住みよいまちづくりを

「自助」「共助」「公助」「協働」が住みよい串間のキーワード。住民、自治会、行政が「協働」一体となってより住みよい串間を作っていきます。

住みよい串間市をつくるために

地域住民同士が共に暮らし、共に支えあう「自治会」。住みよい串間市をつくるための4つのキーワード「自助」「共助」「公助」「協働」の中で、自治会はそのような役割を果たしているのでしょうか。

串間市には現在153の自治会があります。各自治会では自治会長をはじめとする各役員を中心に、住みよい地域づくりのためさまざまな活動に取り組んでいます。

串間市における区組織の変遷

昭和29年の市制施行以来、地域は「区」という単位で、区長を中心に住民同士で助け合い、地域の祭りなどを行いながら交流を図ってきました。

平成15年には、これまでの区長制と併せて社会教育的性格のある自治公民館長制を導入。地域住民のより積極的な親睦・交流や生涯学習活動の推進などにも取り組んできました。地域には本来、住民自らが地

域のことを考え、課題を解決する機能が備わっていました。しかし近年、少子・高齢化、核家族化、過疎化が進むにつれて、地域内の人間関係の希薄化が見られるようになりました。さらに個人の価値観が多様化する中で、そのような地域の持つ機能は低下してしまいました。しかしその一方では、地震や台風などの災害時などにおける地域住民の自立と連帯の必要性は増してきたのです。

そこで平成19年4月、区長・自治公民館長併用制から自治会制へと移行。住民同士が共に暮らし、共に支えあう、住みよい地域づくり、自治活動の活性化を図ることとなりました。

住みよい地域づくりのための4つのキーワード

住みよい地域づくりのためのキーワードは4つ、「自助」「共助」「公助」そして「協働」です。まず「自助」。住民本人や家族による自立、個人の努力です。自分自身の健康管理をしっかりとす、ごみを減らすなど「自分でできることは自分でやる」という、住民それぞれに求められるものです。

次に「共助」。地域や住民同士による支えあい、地域の結束です。健康づくりや地域の美化活動、災害時に備える自主防災組織結成など「地域でできることは地域でやる」という、自治会(地域)に求められるものです。

続いて「公助」。これは公的な援助、「自助(住民)」「共助(自治会)」への支援のことです。「自治会」への支援のことです。地域住民が安心・安全・快適に暮らせるよう共通のルール、制度を整備したり、危険地域の把握・防災マップを作成したものを住民に知らせたり、災害時の消防署や消防団の出動、避難指示・避難勧告を出したりなど、行政が果たさなくてはならないものです。

最後に「協働」。これは「自助(住民)」「共助(自治会)」「公助(行政)」が協力・連携すること。それぞれの役割と責任を分担、それを果たし、協力・連携していくことで、住みよい串間市がつけられていくのです。

自治会の役割

冒頭で述べたとおり串間市には153の自治会がありさまざまな活動に取り組んでいます。例えば「ごみステーション」の設置。自治会独自の予算と市からの補助により地域内にごみステーションを設置し、衛生的で美しいまちづくりに取り組んでいます。また市からの大事なお知らせ「行政連絡文書」を、自治会回覧板を使い各家庭に届けています。各自治会で活動内容は異なりますが、このほかにも青少年育成、防犯、自主防災、消防団支援などの活動に取り組んでいるのです。

自主防災組織の重要性

さまざまな自治会活動の中で